



2017年6月26日

HERE Technologies
パイオニア株式会社

HERE とパイオニア/インクリメント P、自動運転時代に向けて グローバルな地図ソリューションを実現するための基本契約を締結

グローバルな地図および位置情報サービス提供会社の HERE Technologies（本社：オランダ・アムステルダム、社長：Edzard Overbeek、以下、「HERE」）と、カーエレクトロニクス事業をグローバルに展開するパイオニア株式会社（本社：東京都文京区、社長：小谷 進、以下、「パイオニア」）の 100%子会社で地図事業を担うインクリメント・ピー株式会社（本社：東京都文京区、社長：神宮司 巧、以下、「インクリメント P」）は、このたび、自動運転時代に向けたグローバルな地図ソリューションの実現を目的とした基本契約を締結しました。本契約は、2017 年 2 月に両社が共同発表した戦略的提携合意を受けて、検討を進めてきたものです。

HERE の CEO Edzard Overbeek は、本件について次のように述べています。
「パイオニアとの重要なパートナーシップを前進させることができ喜んでます。本件により、当社が取り組んできた地図と位置情報サービスの顧客への真のグローバルな提供が可能になります。」

パイオニアの代表取締役 兼 社長執行役員 小谷 進は、本件について次のように述べています。
「HERE との戦略的協業が進展していることを大変うれしく思います。両社が保有する標準地図の相互利用や自動運転用高精度地図の開発への参画により、新しいビジネス機会を創出することができるものと考えています。」

HERE とパイオニア/インクリメント P は、様々な協業を検討していますが、このたび進展があったのは次の通りです。

・グローバルな標準地図サービス

HERE とインクリメント P は、標準地図データのグローバルな提供において協業を進めます。両社は、各々が保有する標準地図データを既存および将来の商品やサービスに活用でき、今下期よりグローバル地図データの提供を開始する予定です。また、両社は、共通フォーマットなど一貫性のあるグローバル地図データの供給を検討していきます。これにより、顧客は、品質管理などのメリットを享受することができるようになります。

・自動運転をサポートするグローバル高精度地図サービス

HERE とインクリメント P は、安全・効率的・快適な自動運転を可能とするために必須となる高精度地図の共用化に向けて評価を開始します。今後、自動運転車両メーカー向けに、グローバルで一貫性のある高精度地図データの提供を目指します。また、両社は、それぞれ日本で高精度地図の協調領域における基盤を提供するダイナミックマップ基盤企画株式会社*の活動と連携していきます。インクリメント P は同社の出資者の一員であり、HERE は同社と高精度地図制作における協業に向けての議論を開始いたしました。

*： ダイナミックマップ基盤企画株式会社は、企画会社から事業会社に事業内容を変更し、2017 年 6 月 30 日にダイナミックマップ基盤株式会社に社名を変更します。